

シクラメン飾花用マニュアル

シクラメンは本来冬期に室内で楽しむ鉢花ですが、耐寒性があり寒い冬も屋外で楽しめるものとしてガーデンシクラメンが出回るようになりました。ただし、冬期最低気温が氷点下が続く場所で花を咲き続けることは難しい為、置き場所には工夫が必要です。また、最近ではシクラメンも比較的安価で手に入ることから通常のシクラメンもプランターなどで楽しむ事も出来ます。

暦	年間カレンダー											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な作業	観賞期間										観賞期間	
									苗導入	植え込み		花がら摘み
定植場所	耐寒性が弱い為、基本的にはプランターに寄せ植えし、日当たりが良い場所に置きましょう。 厳冬期には部屋の中の内なるべく日当たりのいい場所に置きます。外気温が氷点下にならない場所であれば外に置いて良いでしょう。											
植付時期	プランターなどに植え付ける場合は、冬越し前に根を張らせたい為、シクラメンが出回る10月くらいから植え付けるが良いでしょう。 深植すると花芽などが腐りやすくなりますので浅植えにしましょう。											
水管理	冬期でも水切れをしないよう注意します。週2回くらいが目安となります。水のやり過ぎには注意しましょう。											
施肥管理	定植および寄せ植え後から観賞期間中は窒素肥料切れに注意します。 緩効性肥料を使用する事で、全量基肥のみで追肥なしで管理することが可能です。											
病虫害防除	農薬の使用に当たっては、花き類に登録のある農薬を使用します。											

花を長く咲かせるためのポイント

肥料切れと水切れをさせないことがポイントになります。あらかじめ緩効性肥料を施し、肥料切れを防ぎます。

また、しおれたり咲き終わった花は早めに抜き取りましょう。

参考 具体的使用肥料（60ℓプランターあたり施用量）

窒素を含む肥料	リン酸	加里	苦土石灰
ロングトール花き1号	過リン酸石灰	塩化カリ	タイニー
60g	30g	5g	50g

※令和2年度総合農業技術センター岳麓試験地 試験結果

シクラメンのプランター飾花例

シクラメン



10 株植え

ガーデンシクラメン



12 株植え

四角プランターへの飾花例



シクラメン



ガーデンシクラメン

丸プランターへの飾花例

日当たりの悪い場所



日当たり良好な場所



○花がら摘み

- ・株を片手で押さえながら、咲き終わった花梗（球根と花の間の茎）を手で摘んで引き抜きます。同様に枯れた葉も引き抜きます。

○葉組み

- ・球根の頂部にある芽に光を当てて生育を促進するとともに、花を中央に集めて株姿を整える目的で行います。
- ・開花中も随時行くと、形良く、小さな蕾まで咲くようになります。

- 置く場所は日当たり良好な場所に置くと長く楽しめます。